

# 令和元年度 事業報告書

公益財団法人 日本発明振興協会

当協会は昭和 28 年に「優秀発明振興協会」として創立、昭和 34 年 11 月 11 日「財団法人日本発明振興協会」として内閣総理大臣より設立の許可を受けた。昭和 48 年には現在地に日本発明振興会館を建設して当協会の目的である発明振興活動の拠点とし、旧科学技術庁をはじめとする諸官庁の指導のもとに科学技術の普及啓発と思想の高揚を図り産業の発展及び国民生活の向上に努めてきた。

平成 22 年 4 月には公益財団法人の移行申請を行い、同年 11 月 19 日に内閣総理大臣より移行認定書を受領し、同年 12 月 1 日に解散登記並びに設立登記を行うことによって新たに「公益財団法人日本発明振興協会」として再スタートした。

令和元年度においては、平成 30 年度に引き続き公益事業として 4 つの事業を柱に従来の発明振興及び普及の諸事業を継続実施した。

第 45 回「発明大賞表彰事業」において、令和元年 7 月から 9 月に募集を行った案件に対し、委員会による予備審査及び審査を経て受賞者の決定を行ったが、令和 2 年 3 月 13 日に予定していた表彰式は新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み中止した。第 41 回「こども発明教室」は令和元年 5 月から約 8 ヶ月間、土、日曜日を利用して実施し、令和 2 年 2 月 9 日には修了式を行った。

「発明普及事業」としては、第 39 回「発明研究奨励金交付事業」を令和元年 5 月から 7 月に交付申請を受け付け、令和元年 11 月 19 日に交付式を行った。科学技術週間に参加し、平成 31 年 4 月 18 日に優秀発明発表会を開催した。また、交流及び見学研修会、会社説明会、講演会など種々の情報発信や、相談員による発明無料相談を行った。さらに、サイエンストランプについては、新規に「方程式と図形トランプ」を制作するとともに、これまで制作したトランプの普及を図った。「会誌発行事業」としては、機関誌「発明と生活」の発行を継続して実施した。その他、叙勲、国家褒章、文部科学大臣表彰等、各種表彰制度への推薦、新春賀詞交歓会を実施した。これら事業を、科学技術振興機構、東京都立産業技術研究センターとの連携協力協定のもとに実施した。

## 1. 発明大賞表彰事業

日刊工業新聞社と共催の第45回発明大賞の表彰事業として、中堅・中小企業及び個人またはグループを対象に発明大賞、発明功労賞、考案功労賞、発明奨励賞、発明育成賞を設定し、募集を行い、各賞を授与し顕彰した。令和2年3月13日に明治記念館において表彰式を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み中止した。

### 発 明 大 賞（4件）

#### （1） 発明大賞本賞

「柔軟触覚センサ」

タッチエンス(株) 開発部 永野 顕法 殿

#### （2） 発明大賞東京都知事賞

「小型塩水噴霧試験機」

スガ試験機(株) 代表取締役社長

須賀 茂雄 殿

開発部プロジェクトD 課長

金原 英司 殿

開発部プロジェクトD 課長代理

長谷川 和哉 殿

#### （3） 発明大賞日本発明振興協会会長賞

「統計学を応用したプラント設備及び生産ラインの管理強化」

個人

山本 隆義 殿

#### （4） 発明大賞日刊工業新聞社賞

「エレメント積層型混合器」

アイセル(株) 技術顧問

望月 昇 殿

### 発 明 功 労 賞（7件）

#### （1） 「極細棒材を棒材加工機に供給する装置」

育良精機(株) 省力機器事業部 開発部 部長

中里 幸司 殿

#### （2） 「「断線遮断」機能付き震災対策用緊急遮断システム」

(株)カワデン 代表取締役社長

金高 浩春 殿

取締役常務

田中 丈二 殿

開発部 部長

松永 均 殿

#### （3） 「目視選別しやすい物品検査装置」

サムテック・イノベーションズ(株) 代表取締役

高本 智仙 殿

#### （4） 「光る防煙垂壁」

(株)ジェスコ 代表取締役社長

田中 政俊 殿

#### （5） 「コンクリート用残存化粧型枠」

フリー工業(株) 代表取締役社長

富田 満 殿

#### （6） 「食品移送ポンプ用磁性ゴム部品」

ヘイシンテクノベルク(株) 研究開発グループ

片山 裕子 殿

研究開発グループ

東波 正浩 殿

(7) 「部品清浄度評価のコンタミ測定器」

森合精機(株)	代表取締役社長	森合	政輝	殿
	油圧事業部 部長	藤本	幸男	殿
	開発課 課長	松村	繁廣	殿
(株)トクピ製作所	代表取締役社長	森合	主税	殿

考 案 功 勞 賞 (8 件)

(1) 「フレキシブル・モジュール・コンベヤシステム」

伊東電機(株)	代表取締役会長	伊東	一夫	殿
	技術本部 本部長	橋	俊之	殿
	グローバル経営戦略室 総括部長	高永	明	殿
	システム制御部 部長	鬮橋	義幸	殿

(2) 「し尿を含まない生活雑排水だけを洗浄する浄化装置」

正和電工(株)	代表取締役	橋井	敏弘	殿
---------	-------	----	----	---

(3) 「回路磁束を利用する無電源電流計測装置」

泰興物産(株)	代表取締役	丸田	陽	殿
---------	-------	----	---	---

(4) 「風通しよく透けにくい生地」

東洋物産(株)	開発室 課長	吉田	裕之	殿
---------	--------	----	----	---

(5) 「発泡廃ガラスを用いた道路舗装構造」

日本建設技術(株)	代表取締役	原	裕	殿
-----------	-------	---	---	---

(6) 「関節運動を伴わない筋力測定・訓練装置」

日本シグマックス(株)	商品企画開発部開発2課 マネージャー	塚原	義人	殿
	商品企画開発部開発2課	森	雅人	殿

(7) 「ヘルメット用頭部冷却具」

(株)プロップ	代表取締役	内田	光也	殿
---------	-------	----	----	---

(8) 「鏝付きチューブ」

淀川ヒューテック(株)	熊本工場 工場長	中平	吉人	殿
-------------	----------	----	----	---

発 明 奨 励 賞 (3 件)

(1) 「合成樹脂常温微粉碎装置」

(株)Isaac	代表取締役社長	大川	功	殿
----------	---------	----	---	---

(2) 「従来のモータ駆動装置に代わる小型高効率低コスト駆動装置」

(有)エルメック	代表取締役	飯島	克彦	殿
----------	-------	----	----	---

(3) 「水面浮遊物回収船」

(有)実用技術研究所	所長	慎	燦益	殿
------------	----	---	----	---

発 明 育 成 賞 ・ ・ ・ ・ ・ 該当なし

## 2. こども発明教室事業

第 41 回こども発明教室を会館地下 1 階を利用し、土曜日午後及び日曜日午前・午後に実施した。132 名が入室し、専任講師 1 名、講師 19 名が交替で指導に当たった。令和 2 年 1 月 19 日に作品の審査会を行い、同年 2 月 9 日に修了式を行った。

## 3. 発明普及事業

### (1) 発明奨励金交付

第 39 回発明奨励金事業を実施し、令和元年 11 月 19 日、日本発明振興会館に於いて 2 件に奨励金を交付した。

交付対象となった試作・研究題目及び受領者は次のとおりである。

「介護用洗浄装置」

(株)熊本アイディーエム 代表取締役会長 高倉 信 殿

「鉄筋の圧接工法」

個人 林 成行 殿

### (2) 優秀発明発表会

科学技術週間に参加し、平成 31 年 4 月 18 日に第 44 回発明大賞受賞者 8 社による優秀発明発表会を JAM 金属労働会館にて開催した。

### (3) 発明相談

発明に関する特許、技術その他の無料発明相談を行った。

### (4) 交流及び講習会等

交流及び見学研修会

令和元年 10 月 30～31 日に見学研修会を開催し交流を深めた。

講演会

令和元年 12 月 5 日、東京商工会議所が主催した「勇気ある経営大賞」の受賞者を講師とする講演会『イノベーションの継続的実現をめざす - 「勇気ある経営大賞」受賞者に学ぶ技術開発と経営戦略 -』を開催した。

講師：(株)東鋼 代表取締役社長 寺島 誠人

(株)華光 代表取締役社長 木田 和寿

サイエンストランプ

新規に「方程式と図形トランプ」を制作するとともに、これまで制作した 6 種類のトランプを含め全国の科学館等での普及に努めた。また、「科学の甲子園」を初めとする学生科学コンテストの全国大会に参加賞として提供した。

## 4. 会誌発行等事業

機関誌『発明と生活』を 6 回発行した。特別対談、講演会、こども発明教室等、各種協会事業や会員の栄誉等について報告し、賛助会員及び関係方面に配布した。

## 5. 優秀発明功労者の推薦

### (1) 叙勲、国家褒章への推薦 (0 件)

該当する 1 候補者を推薦したが受章できなかった。

### (2) 文部科学大臣表彰への推薦 (0 件)

該当する 4 候補者を推薦したが受賞できなかった。

## 6. 新春賀詞交歓会

令和 2 年 1 月 20 日に明治記念館にて新春賀詞交歓会を開催した。

## 7. 理事・評議員会など

### (1) 令和元年度 第 1 回理事会 (令和元年 5 月 28 日)

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告書 (案) について

第 2 号議案 平成 30 年度決算報告書 (案) について

第 3 号議案 評議員・役員等の選任 (案) について

第 4 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

### (2) 令和元年度 第 1 回評議員会 (令和元年 6 月 18 日: 書面による)

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告書 (案) について

第 2 号議案 平成 30 年度決算報告書 (案) について

第 3 号議案 評議員、役員等の選任 (案) について

### (3) 令和元年度 臨時理事会 (令和元年 6 月 18 日: 書面による)

第 1 号議案 代表理事、執行理事の選任について

### (4) 令和元年度 第 2 回理事会 (令和元年 12 月 5 日)

第 1 号議案 令和元年度中間財務状況について

第 2 号議案 「発明振興表彰・特別表彰 表彰者」について

### (5) 令和元年度 第 3 回理事会 (令和 2 年 3 月 6 日)

第 1 号議案 令和 2 年度事業計画書 (案) について

第 2 号議案 令和 2 年度収支予算書 (案) および

資金調達及び設備投資の見込み (案) について

第 3 号議案 個人情報等管理規程等の制定等について

第 4 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

第 5 号議案 事務局長の任命について

### (6) 令和元年度 臨時評議員会 (令和 2 年 3 月 17 日)

第 1 号議案 令和 2 年度 事業計画書 (案) について

第 2 号議案 令和 2 年度 収支予算書 (案) および

資金調達及び設備投資の見込み (案) について

## 8. その他事業

中小企業活動について学生に紹介する会社説明会を大学と協力して実施した。

令和元年 11 月 7 日 千葉工業大学

なお、東京工科大学において令和 2 年 3 月 10 日に開催する予定であった合同企業セミナーは、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み中止した。